



平成30年2月3日
北海道開発局
札幌管区気象台

低気圧の影響による大雪に対する注意喚起

～最新の気象情報・道路情報を事前に確認し、万全な備えを～

北海道地方では別紙1のとおり、これから2月5日（月）にかけて、低気圧による悪天候が予想されるため、札幌管区気象台から「大雪と暴風雪に関する北海道地方気象情報」を発表しております。

北海道開発局では、今後の悪天候に備え、十分な除雪体制を構築しておりますが、過去に別紙2の様な立ち往生車両が発生していることから、早い段階で通行止めを行う場合がございます。

なお、立ち往生車両が発生した場合、別紙3のとおり、緊急通行車両の通行確保を目的とした、立ち往生車両等の移動を行う場合がありますので、予めご了承願います。

また、「ふぶきによる視程障害や吹きだまり」による交通障害が発生するおそれもありますので、最新の道路情報や気象情報（別紙4参照）を十分に確認していただき、不要不急の外出は避けていただくとともに、万全の備え（別紙5参照）をお願いします。

<最新の気象情報や道路情報は、こちらを御覧ください>

気象情報：<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>

道路情報：<http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>

【気象に関する問合せ先】

札幌管区気象台

電話（代表）011-611-6124

気象防災部 予報課 主任予報官 黒田 英二

【道路に関する問合せ先】

国土交通省 北海道開発局

電話（代表）011-709-2311

建設部 道路維持課 課長補佐 神田 太朗（内線 5821）

課長補佐 鈴木 善人（内線 5383）

- 渡島地方を中心に、これから2月5日にかけて大雪による車両の立往生などの交通障害の発生するおそれがあります。
- 湿った重い雪により除雪作業が困難になるおそれもあります。
- 大雪による交通障害に警戒し、なだれにも注意が必要です。
- 外出される際は、事前に気象情報や道路情報を十分に確認していただき、万全の備えをしていただくようお願いします。

【今後の気象の見通し】

	3日	4日		5日	
地域 / 時間	夜	朝	昼	夜	朝
渡島地方					

凡例：
大雪のピーク
大雪の警戒・注意期間

<雪の予想>

・3日18時から4日18時までの降雪量
渡島地方の多い所 60センチ

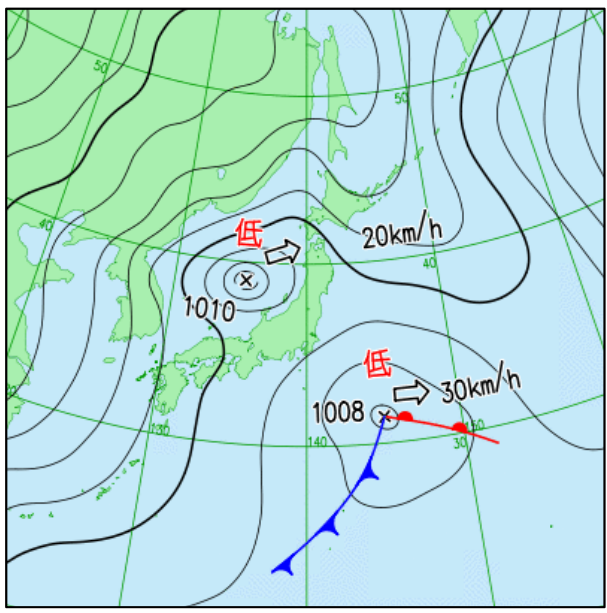
その後も5日にかけて雪の降りやすい状況は続くため、更に降雪量は多くなる見込みです。

詳細な気象情報は気象庁HP
(<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)をご覧ください。

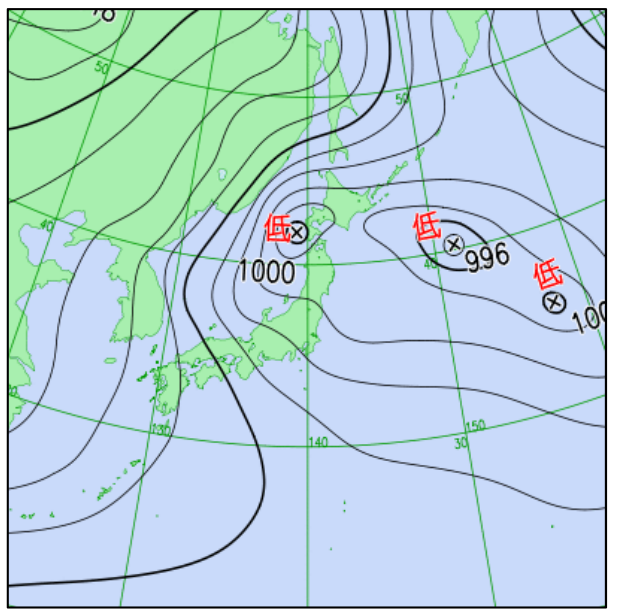
【気象概況】

- ・2月4日夜にかけて、日本海の低気圧がゆっくり津軽海峡付近に進み、渡島地方には、5日にかけて低気圧に向かって湿った空気が流れ込む見込みです。
- ・渡島地方では、5日にかけて大雪となり、特に、4日未明から昼前にかけては降雪が強まる見込みです。

【天気図】



3日9時実況天気図



4日21時予想天気図

【過去の暴風雪や大雪による道路状況】

- 過去には、下に示す写真の様なふぶきや大雪の影響により、多数の立ち往生車両が発生。
- 広い範囲でふぶきや大雪の影響により、国道の通行止め発生や公共交通機関の運行が停止し、物流や住民生活に大きな影響を受けた。



ふぶきによる立ち往生の発生



大雪による立ち往生の発生

- 災害対策基本法改正(平成26年11月21日施行)により、大規模災害発生時における緊急通行車両の通行ルートを確認するため、道路管理者による放置車両等の移動が可能となりました。
- 緊急通行車両の通行を確認する緊急の必要がある場合は、災害対策基本法に基づき、道路管理者が区間を指定して、放置車両・立ち往生車両等の移動を行う場合があります。

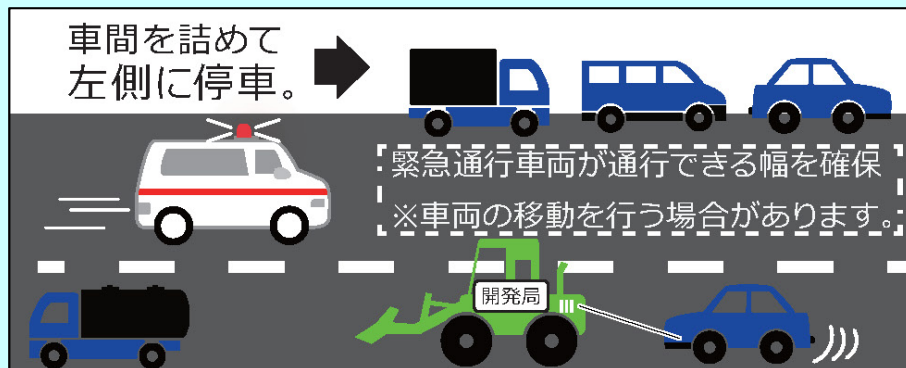
【区間を指定し車両移動を行うケース】



地震やふぶき等で立ち往生等が発生

緊急通行車両の通行ルートが1車線すら確保できない場合に行う

【車両において避難する際の留意事項】



※車両を置いて移動される場合は、連絡先や避難場所等を掲示していただくとともに、鍵を付けたままでの避難に、御協力をお願いします。

【道路管理者による車両の移動方法】

- 車両に鍵が付いている場合 ～ 道路管理者の運転による移動
- 車両に鍵が付いていない場合 ～ 重機等による移動

移動用装置による移動状況(参考例)



サイドミラー等に移動の通知や連絡先などを記載し掲示

牽引による移動状況(参考例)



- ※車両移動の指示があった場合は、道路管理者の指示に従い速やかな車両移動へ御協力を。
- ※移動通知書は、移動前付近の構造物等にも掲示。

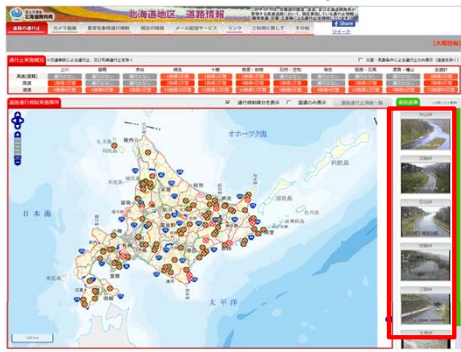
【車両の移動時における損傷】

- 道路管理者等により車両を移動した際の損傷(窓ガラスの破損、車両のへこみ等)については、補償の対象となりますので移動通知書に記載の問合せ先に、御連絡願います。

冬期の悪天候時には、最新の各種道路情報や気象情報を確認願います

北海道地区道路情報

国道・道道の規制情報、道路気象情報、道路画像情報をWebページで提供
PC・スマートフォン・携帯 URL: <http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>



(北海道道路地区情報)



▲二次元コード

静止画像と気象データ(気温、路温、風速、時間雨量、積雪深)を見ることが可能

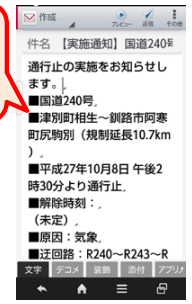
昨年度の秋頃から外国人ドライバー向けに英語で提供開始

SNSでも通行止め情報

メール配信サービス



今年度より通行止め解除1時間前を目処に解除予告の情報提供を実施



(メール配信画面)

気象庁発表の気象情報を踏まえた道路利用者への情報提供

道路情報板に道路利用者へ予告情報「早めのタイヤ交換」、「通行止めを行うことがあります」等を周知。今冬は、通行止め解除1時間前を目処に解除予告の情報提供を実施。

<初冬期>

各峠路面凍結の恐れ
冬タイヤ装着
早めのタイヤ交換を

<暴風雪時> ※下記は、道路情報板表示のイメージ図

○気象情報の発信

○日～日にかけて

○地域

暴風雪の恐れ

○注意・警報発令

注意 暴風雪により

通行止めを行う

ことがあります

○通行止め

○峠

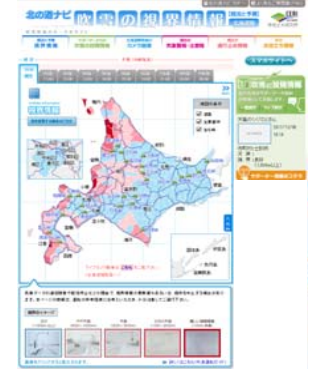
吹雪のため

通行止

Road Closed
due to snowstorm

北の道ナビ(ふぶきの視界情報) <寒地土木研究所提供>

吹雪の視界情報等の情報を集約した情報提供サイト。



- ▶視界情報 ▶吹雪の投稿情報
- ▶気象警報・注意報 ▶通行止め情報
- ▶メール配信サービス

●下記の語句で検索いただくか、次のURLをご入力下さい。

PC版

吹雪視界

検索

URL <http://northern-road.jp/navi/touge/fubuki.htm>

スマートフォン版

URL <http://northern-road.jp/navi/touge/sp/fubuki.htm>

ケータイ版

URL <http://n-rd.jp/>

コンビニやガソリンスタンド等に道路管理者からの道路情報

コンビニやガソリンスタンド等に協力いただき「道路情報連絡所」として、道路情報提供を実施。



コンビニ掲示状況



▲掲示例

※道路管理者からの道路情報(通行止め情報)は各連絡所にi-Faxにより送信され、店舗内に掲示。(コンビニ、ガソリンスタンド、道の駅等、全道894箇所へ送信。)

警報・注意報や気象情報

気象庁や各地の気象台における警報・注意報の発表状況や最新の気象情報を提供。URL: <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>



▲二次元コード

- 今後の悪天候に備え、十分な除雪体制を構築しておりますが、道路の通行の安全確保ができない場合等においては、道路の通行止めを行う場合があります。
- 安全な走行が困難な場合は、無理をせず最寄りの「道の駅」や「コンビニ」等で、天候回復をお待ちいただけますよう、お願いします。

【暴風雪等への備えと対応】

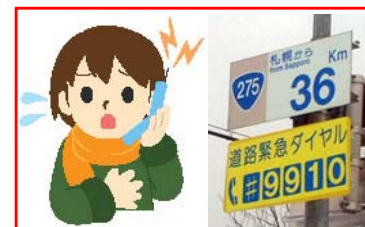
外出の際は車内に以下の備えを



※上記は備えの一例であり、天候等に合わせた万全な備えをお願いします。

立ち往生し救助を求めるときは

- 立ち往生してしまった場合は、ハザードランプ点灯や停止表示版等により、停車していることが他の車や周囲にわかるように表示。
- 道路管理者や警察・消防等に救助を求める場合は、出来るだけ位置を正確に伝える。
※国道での位置は、道路脇の1km置きに設置された標識を確認。



立ち往生して車内で救助を待っているときは

- 車で走行中に立ち往生してしまい車内で救助を待つときは、低体温症や凍傷、排気ガスによる一酸化炭素中毒にならないように十分注意が必要です。

！ 原則エンジン停止

一酸化炭素中毒の危険をなくすにはエンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。



！ 一酸化炭素中毒の危険性

車が雪に埋もれたときにエンジンをかけ続けると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性が生じます。埋もれる深さが深いほど危険です。



！ エンジンをかけるときは

防寒等でやむを得ずエンジンをかけるときには、排気管出口を確実に大気へ開放し、追加の降雪や吹きだまりによる再埋没に注意しましょう。



※窓を開けていても風向や窓の開度等の条件によっては、一酸化炭素中毒の危険性があります。